「『解禁！ししゃもまつり』開催への感謝と、
ししゃもの資源動向調査及び試験操業について」

◯10 月 24 日に開催されました「解禁！ししゃもまつり」が、主催となる観光協会をはじめとする関係者の皆さまのご尽力により、盛会のうちに終了いたしましたこと、心よりお祝いと感謝を申し上げます。

◯今年は、会場に様々なししゃも料理が並び、町内外の皆さまからお越しいただきました。ししゃもに対する関心の高さとともに、むかわ町にとってししゃもがいかに大切な存在であり、地域の皆さまにどれほど愛されているかを改めて実感する機会となりました。

◯一方、ししゃも漁につきましては、今年も本格操業は見送られましたが、これまで行われてきた資源動向調査が 10 月 10 日（土）に、同調査をさらに拡充した試験操業が 10 月 12 日（月）に、順次開始されております。

◯私自身も 10 日の資源動向調査の漁船に乗船し、漁業者や調査機関の皆さまが海上で真摯に調査に取り組む姿を間近で拝見いたしました。また、12 日の試験操業では水揚げされたししゃもが競りにかけられる様子を、翌 13 日には、すだれ干しにされた鵡川産ししゃもが店頭に並ぶ姿も目にいたしました。

◯しかしながら、この取り組みは、３年間の休漁中に資源がどこまで回復したのかを見極めるための重要な調査です。今年一定の漁獲があったとしても、直ちに資源が回復したと容易に判断できるものではありません。この調査は、将来、本格操業を再開できるかを判断するための一つであり、引き続き慎重に見極めていく必要があります。

◯鵡川産ししゃもは、単なる水産物ではありません。長年にわたり、地域の食文化を育み、むかわ町の名を全国に伝えてきた、私たちの誇りでもあります。

◯だからこそ、大切なのは目先の漁獲量だけではなく、この貴重な地域資源を守り、次の世代へ確実につないでいくことです。これまで厳しい状況の中で資源管理に取り組んでこられた漁業者や関係者の皆様のご努力に、改めて敬意を表します。

◯町といたしましても、鵡川漁業協同組合や北海道、関係する調査研究機関などと連携し、資源状況の把握と適切な資源管理に取り組むとともに、鵡川産ししゃもが育んできた食文化と地域ブランドの価値を大切にしてまいります。

◯４年ぶりに並んだ鵡川産ししゃも。この喜びを一過性のものにすることなく、将来にわたって鵡川の海の恵みを受け継いでいけるよう、関係者の皆さまとともに、一歩ずつ取り組んでまいります。